

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事		平成 24年 7月 31日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市下京区塩小路通堀川東入南不動堂町801番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) オムロン株式会社 代表取締役社長 山田 義仁
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004 (JIS Q14001:2004)	
適用範囲	オムロン株式会社 京阪奈イノベーションセンタ	
導入年月日	2001年 4月 3日	
認証番号	1188375-1189005	
基本方針	オムロングループの社憲・企業理念に基づき、国際社会の一員としてCSRを深く意識し、社会にとって有用な商品を提供することを、最小限のヒト、モノ、カネ、エネルギーなどの経営資源で実現するため、G-EMSの環境方針を定め環境に配慮したグローバル事業活動を促進する。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	<input type="checkbox"/> 省エネルギー(CO2)・・・2011年度実績比 2010年度実績比 2011年1.0%削減 2013年までに3.0%減を目標に取り組みます。 <input type="checkbox"/> 廃棄物排出量の削減・・・2011年度実績未滿を2012年度目標としています。	
目標を達成するための取組の内容	省エネルギーの推進(CO2) ・コージェネ運転運用変更 ・熱源水ポンプのINV化 ・純水装置の発停運転 ・照明間引き ・池ポンプ運転停止 ・中温冷却水ポンプのINV化 ・CR凍結 ・1次、2次温水ポンプの夏期停止 ・純水装置の夜間停止 ・スクラバのINV運用調整 ・純水装置のINV運用調整 ・冷温冷却水ポンプのINV運用調整	
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギーの推進(CO2) ・コージェネ運転運用変更実施中 ・熱源水ポンプのINV化 10年8月実施済(Δ20,000kWh/月) ・純水装置の発停運転 11年1月実施済(Δ10,000kWh/月) ・照明間引き 11年5月実施済(Δ2,000kWh/月) ・池ポンプ運転停止 11年7月実施済(Δ2,000kWh/月) ・中温冷却水ポンプのINV化 今年度8月実施済(Δ1500kWh/月) ・CR凍結 12年度実施予定 ・1次、2次温水ポンプの夏期停止 12年7月実施予定 ・純水装置の夜間停止 12年7月実施予定 ・スクラバのINV運用調整 12年5月実施予定 ・純水装置のINV運用調整 5月実施予定 ・低温冷却水ポンプのINV運用調整 12年7月実施予定	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	予定通り進めているが、東日本震災の影響による関西電力のピークカット15%削減を達成するために非電気系熱源装置(ガス吸引式冷凍機)を運転しており、ガス使用量が大幅に増加している。今後ピークカット15%削減対応により目標の再設定が必要になる可能性がある。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	どの法令のどの内容が、組織の活動や設備等に適用されるのかを認識できるよう具体的にまとめ上げ、法規制等の動向(新規設定、改正)を、1ヶ月に1回確認を行い、サイト指定の環境関連法規制等情報入手管理シートにチェックを入れて管理を行っている。これまでにについては、行政からの指摘及び違反はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムの評価及び見直しは毎年1月に「マネジメントレビュー」において実施しています。マネジメントレビューでは「環境目的・目標の実績」、「内部環境監査結果」、「外部の利害関係者からのコミュニケーション」などのインプット情報を元に、「環境方針」「環境目的・目標」「その他のEMSの要素」の改善の機会と変更の必要性の評価をアウトプット情報として実施しています。 平成22年度は、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、一部マイナーな見直しを行ったが、23年度もほぼ同一のシステムにより運用を行っています。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。